

骨髄・末梢血幹細胞の移植の推進を図るため、骨髄などの提供を行った人（ドナー）およびドナーが勤務する事業所に対し、骨髄ドナー助成金を交付します。

## 《対象》

### ①ドナー

骨髄バンク事業において平成31年4月1日以降に骨髄などの提供を完了し、これを証明する書類の交付を受けた人（骨髄などの提供に係る通院の日および入院の期間において市内に住所を有する人）

### ②事業所

ドナーが勤務している国内の事業所（国、地方公共団体、独立行政法人および地方独立行政法人を除く）

## 《助成の対象および助成金の額》

	ドナー	事業所
骨髄などの提供に係る通院または入院	1日に付き2万円 (上限7日)	1日に付き1万円 (上限7日)

※骨髄などの採取術またはこれに関連した医療処置によって生じた健康被害に係る通院などの日数は含みません。

## 《申請方法》

健康増進課に備え付け、または市ホームページからダウンロードした申請書に必要事項を記入の上、必要書類を添付し健康増進課へ提出してください。

## 《申請期間》

骨髄などの提供を完了した日～令和2年3月31日(火)

## 「がんの時代を生ききる」～地域がん診療連携拠点病院から皆さんへ～

### 第3回

### 肝胆膵がん

(全8回)

第3回目となる今回は肝胆膵がん疾患についてお話しします。肝臓、胆管、膵臓は、上腹部にある消化器です。

肝臓は「沈黙の臓器」とも呼ばれ、がん初期には自覚症状がほとんどありません。また胆管や膵臓は、胃十二指腸などの臓器とつながっていますが、体の奥の方に位置しており、発見しづらい部位にあります。

### ○症状は？

他のがんと同じく、初期には特定の自覚症状が見られず、腹痛、背部痛、倦怠感、食欲不振、体重減少、そして黄疸といった症状が主な受診理由となります。黄疸は胆汁（黄色のビリルビンを含む消化液）の通り道が阻害されることにより、胆汁の血液中の濃度が上昇して、皮膚や目が黄色になる症状です。他に、皮膚のかゆみ、茶褐色尿、白色便などが見られます。その他にも、糖尿病を発症したり、糖尿病治療中に血糖値コントロールが急に悪化して診断されることもあります。

### ○検査は？

症状がない初期のうちに診断されるのは、かかりつけ医または健康診断の血液検査で偶発的に発見される場合です。特に肝機能障害は、胆嚢結石症・総胆管結石症など良性疾患だけではなく、肝胆膵がん発見の手掛かりになり得ます。ほかに、肝炎ウィルスや腫瘍マーカー値などを検討して、診断を補強していきます。検診では早期発見され難いといえます。採血で異常値を指摘された場合は、腹部超音波検査、コンピューター断層撮影装置（CT）や磁気共鳴画像装置（MRI）などの画像検査により正確な診断を行うことができます。



CTの新機種 Revolution  
画質、スピード、撮影範囲などが飛躍的に向上

### ○治療は？

肝胆膵がんに対し、根治が期待される治療法は手術加療です。このため手術可能な段階で、がんが発見できるかどうかにより治療方針が決まります。

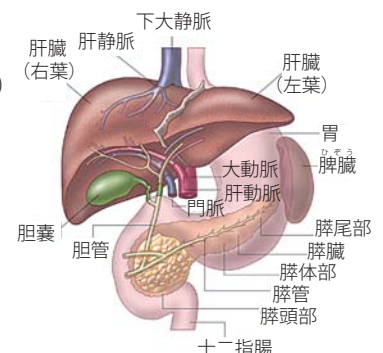
仮に手術可能であると診断されても、大血管や神経など重要器官に囲まれている部位で、広範囲の臓器摘出を伴うため、手術には高い技術が求められます。また、肉眼的にはがんを全部取り切ったと判断しても、目に見えないがんがすでに遠隔転移をしている可能性があることから、他の部位で再発を来すことがあり、肝胆膵がんが「難治」とされる理由です。

ところで、肝臓がんは、がんが肝臓由来である原発性肝がんと他臓器（胃がんや大腸がんなど）由来である転移性肝がん（以下「肝転移」）に分けられ、肝転移は、原発がんの性質により方針は異なります。例えば、大腸がんからの肝転移では手術などの局所療法が良い治療法になり得ますが、膵臓など進行の早いがん由来の肝転移では、全身性の化学療法が適しています。

中央病院では、医師、看護師をはじめとする専門のスタッフが連携し合って治療を進めています。

お困り、お悩みの際は当院消化器内科・外科にご相談ください。

(文責：中央病院  
外科診療部長 藪内 伸一)



中央病院は、厚生労働省から質の高いがん医療を提供している病院「地域がん診療連携拠点病院」として指定を受けています。県内では3カ所のみです。